

阿見町の現状と課題（事前提示資料）

1. 基本方針と目標

- **目標：** 令和8年度中に休日の部活動を「地域クラブ」へ完全移行することを目指しています。
- **目的：** 教職員の「働き方改革の実現」、生徒・保護者への「スポーツ／文化活動の充実（専門的な指導や生涯スポーツへの接続）」、そして行政としての「シティブランディング」の3つを掲げています。
- 「**地域移行**」から「**地域展開**」へ： 学校と地域を完全に切り離すのではなく、学校の施設や指導を希望する教員も含め、地域全体で子供たちの活動を支える「**地域展開**」という概念で取り組みを進めています。

2. これまでの取り組みと現状の進捗

本町では、最適な移行方策を模索するため、段階的に種目を拡大しています。

- **2024年度（令和6年度）：** 3種目（弓道、バレーボール、陸上）でモデル事業を実施し、「各学校・各種目型」「拠点校型」「講座型」など、種目に応じた多様な運営形態を検証しました。
- **2025年度（令和7年度）：** 卓球、男子・女子バスケットボール、剣道の4種目の移行を行いました。

3. 令和8年度（本業務）の位置づけ

令和8年度は、国の「改革実行期間」の初年度にあたり、本町でも「制度定着のための助走期間」と位置づけています。

- **前半（4月～9月）：** 体制整備・移行準備期として、現状分析、受け皿・指導者の確保、プロポーザルの実施など、制度設計とリソース確保を行います。
- **後半（10月～3月）：** 地域展開・実行期として「認定地域クラブ」を始動し、外部委託による事務局運営（指導者管理、安全管理等）を本格稼働させます。

4. 事業者へ解決・提案を求める本町の主な課題

上記の現状を踏まえ、本格稼働に向けて以下の課題を抱えており、技術提案書での具体的なかつ実現可能な解決策（アプローチ）の提示を求めています。

1. **指導者の確保と質の担保：** 地域の多様な人材の発掘手法や、教員の兼職兼業への対応、指導者のハラスメント・体罰防止等を徹底するための研修（資質向上）体制の構築。
2. **保護者の費用負担と持続可能な運営：** 経済的困窮世帯への配慮を含めた低廉な会費設定の維持と、指導者への適正な謝金支払いを両立するための仕組みづくりや、業務効率化によるコスト削減策。
3. **安全管理・危機管理体制：** 生徒全員の保険加入の確実な手続き、活動中の事故やトラブル発生時における緊急対応マニュアルの整備と、事務局による迅速なサポート体制。

4. **関係機関との連携とDX（デジタル化）の推進**：複数校の生徒が集まる中での出欠管理や保護者への連絡網、学校・現行クラブとの情報共有を円滑に行うためのICTツール（アプリ等）の活用と、指導者の煩雑な勤怠・シフト管理の効率化。

5. 令和8年度以降地域展開を予定する部活動種目

- スポーツ部4種（ソフトテニス部、バドミントン部、サッカー部、柔道部）
- 文化部3種（吹奏楽部、科学部、美術部）